

2025年度 当院における医療の質 向上への取り組み

医療法人社団翠会
陽和病院



INDEX

目次

1

診療の質(安全・安心)向上への取り組み

2

患者動態と地域医療連携の状況

3

利用者の満足度

4

採用強化に向けた取り組み

5

その他

1. 診療の質(安全・安心) 向上への取り組み

患者様の安全と安心を最優先に継続的な質の向上に取り組んでいます。

ひやりはっと・インシデント・アクシデント報告

01

インシデント・アクシデント影響度分類

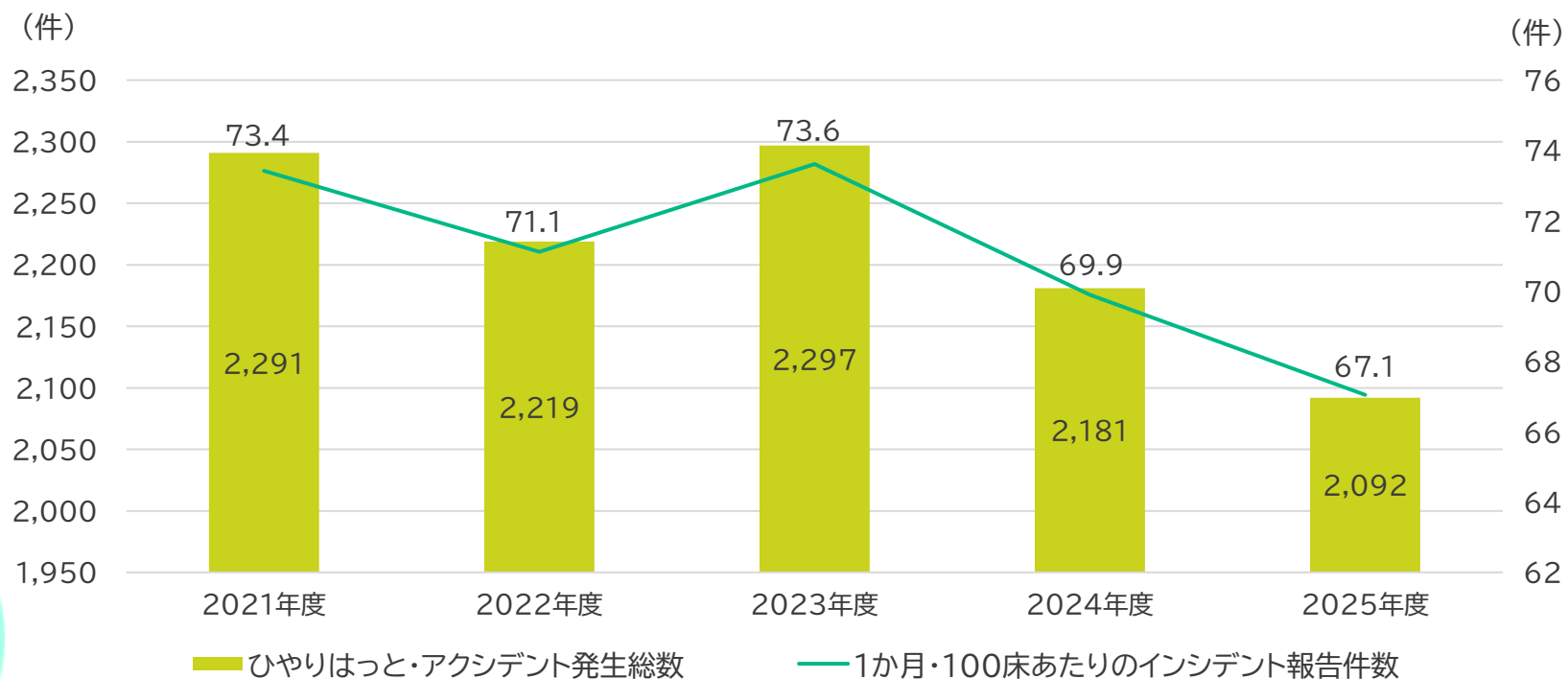
レベル	障害の継続性	障害の程度	
レベル0			エラーや医薬品・医療用具の不具合が見られたが、患者には実施されなかった
レベル1	なし		患者への実害はなかった（なんらかの影響を与えた可能性は否定できない）
レベル2	一過性	軽度	処置や治療は行わなかった（患者観察の強化、バイタルサインの経度変化、安全確認のための検査などの必要性は生じた）
レベル3a	一過性	中度	簡単な処置や治療を要した（消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮静剤の投与など）
レベル3b	一過性	高度	濃厚な処置や治療を要した（バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など）
レベル4a	永続的	軽度～中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない
レベル4b	永続的	中等度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う
レベル5	死亡		死亡（原疾患の自然経過によるものを除く）

02

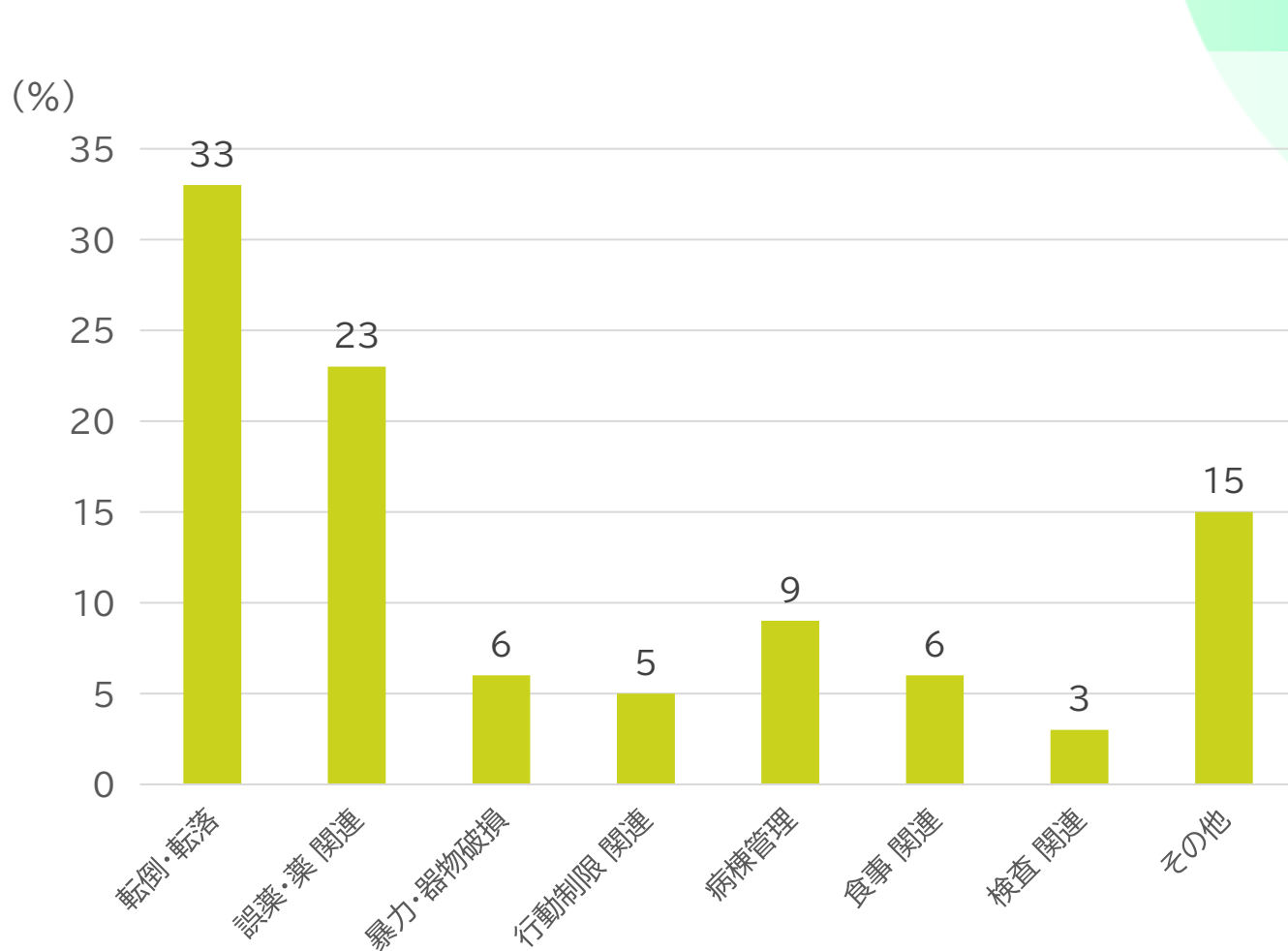
過去5年の報告件数

(単位:件)

年度	ひやりはっと・アクシデント 発生総数	月平均	1ヶ月100床あたりの発生件数 (月平均÷病床数×100)
2021年度	2,291	190.9	73.7
2022年度	2,219	184.9	71.1
2023年度	2,297	191.4	73.6
2024年度	2,181	181.7	69.6
2025年度	2,092	174.3	67.1



2025年度 主なひやりはっと・アクシデント 報告割合



(単位:%)

内容	割合
転倒・転落	33
誤薬・薬 関連	23
暴力・器物破損	6
行動制限 関連	5
病棟管理	9
食事 関連	6
検査 関連	3
その他	15



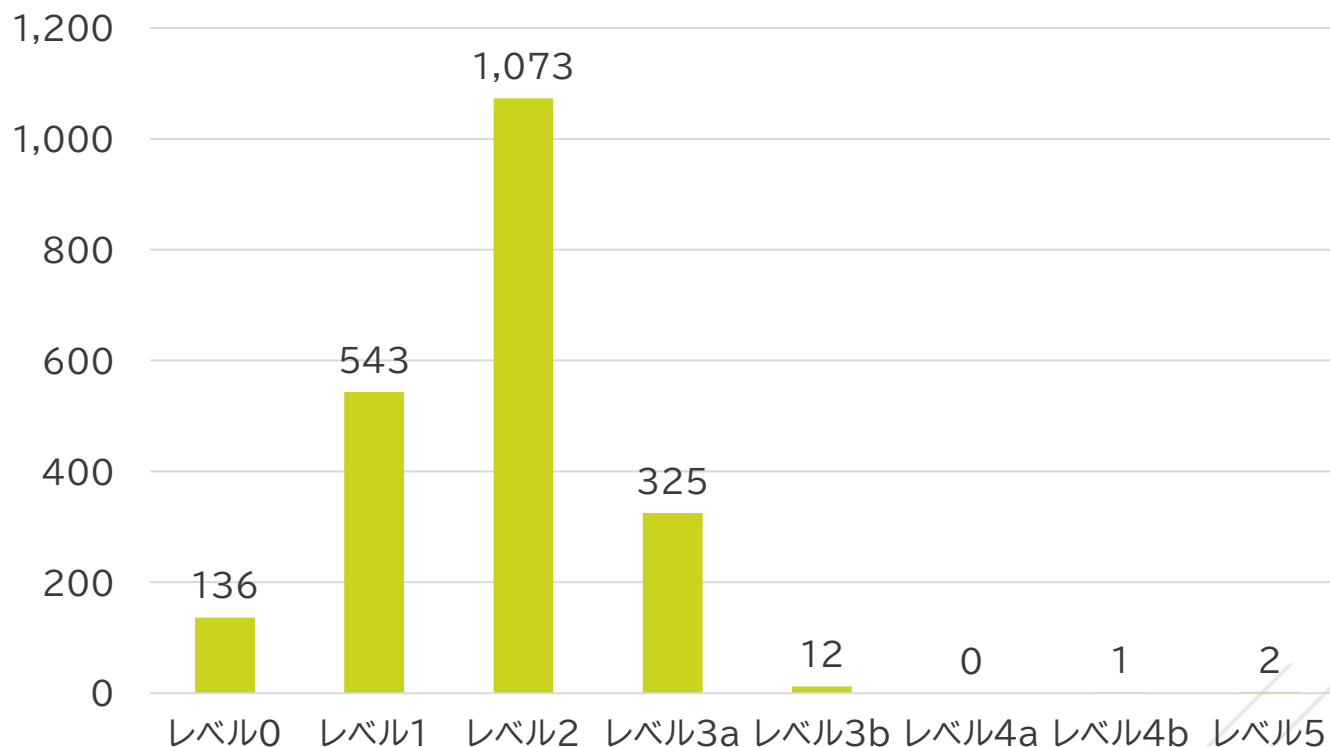
Point!
 当院では、重大事故の防止を目的として、軽微な事例も含め積極的に報告・共有を行っています。
 報告件数の増加は安全意識向上の一つの指標として活用しています。

2025年度 ひやりはっと・アクシデント 影響度(レベル)別 報告件数

(単位:件)

レベル	件数
レベル0	136
レベル1	543
レベル2	1,073
レベル3a	325
レベル3b	12
レベル4a	0
レベル4b	1
レベル5	2
合計	2,092

(件)



レベル3b以上の事象については、医療安全推進委員会において詳細な分析・検証を行っています。検証結果を踏まえ、予兆の早期把握や急変時対応手順の見直し等を実施し、再発防止と安全な医療提供に努めています。

2026年度目標



未然防止の指標である
「レベル0」「レベル1」の報告を
前年度より5%（34件増）増加

効果的なフィードバック

事例紹介、注意喚起ポスターの作成、未然
防止へ繋げたグッドチェックとする評価等
効果的なフィードバックを実行する。

施設基準等について

関東信越厚生局への届出事項

1. 基本診察料の施設基準等に係る届出

- 15対1精神病棟入院基本料
- 精神急性期治療病棟入院料1
- 精神科救急急性期医療入院料1
- 救急医療管理加算
- 精神科急性期医師配置加算
- 特殊疾患入院施設管理加算
- 精神科応急入院施設管理加算
- 看護配置加算
- 看護補助加算1
- 医療安全対策加算1
- 医療安全対策地域連携加算1
- 後発医療品使用体制加算1
- 精神病棟入院時医学管理加算
- 医師事務作業補助体制加算1
- 精神科身体合併症管理加算
- 精神科救急搬送患者地域連携紹介加算
- 精神科地域移行実施加算
- 療養環境加算
- データ提出加算1、3
- 診療録管理体制加算2
- 医療DX推進体制整備加算
- 精神科入退院支援加算

2. 特掲診療料の施設基準等に係る届出

- 薬剤管理指導料
- 検体検査管理加算(Ⅰ)
- CT撮影(4~16列)及びMRI撮影
- 精神科退院時共同指導料2
- 精神科ショートケア(大規模)
- 精神科ショートケア(小規模)
- 精神科デイケア(大規模)
- 精神科ナイトケア
- 精神科デイ・ナイトケア
- 精神科作業療法
- 療養生活環境整備指導加算
- 精神科在宅患者支援管理料1
- 医療保護入院等診察料
- 治療抵抗性統合失調症治療指導管理料
- 療養生活継続支援加算
- 在宅患者訪問診療料2

各種届出加算等

- 精神病棟入院基本料 15対1
- 精神急性期治療病棟入院料1 13対1
- 精神科救急急性期医療入院料1 10対1
- 医師事務作業補助体制加算1 50対1
- 看護職員夜間配置加算
- 看護補助体制充実加算

質の高い医療を支える多職種体制

(単位:人)

職種	常勤	非常勤 (派遣含む)
総職員数	232	94
医師	14	22
(内 精神保健指定医)	(12)	(13)
(内 専門医)	(11)	(2)
(内 指導医)	(8)	(2)
(内 産業医)	(0)	(1)
薬剤師	5	1
管理栄養士	3	1
作業療法士	10	0
理学療法士	0	0
精神保健福祉士	15	0
公認心理師	3	3

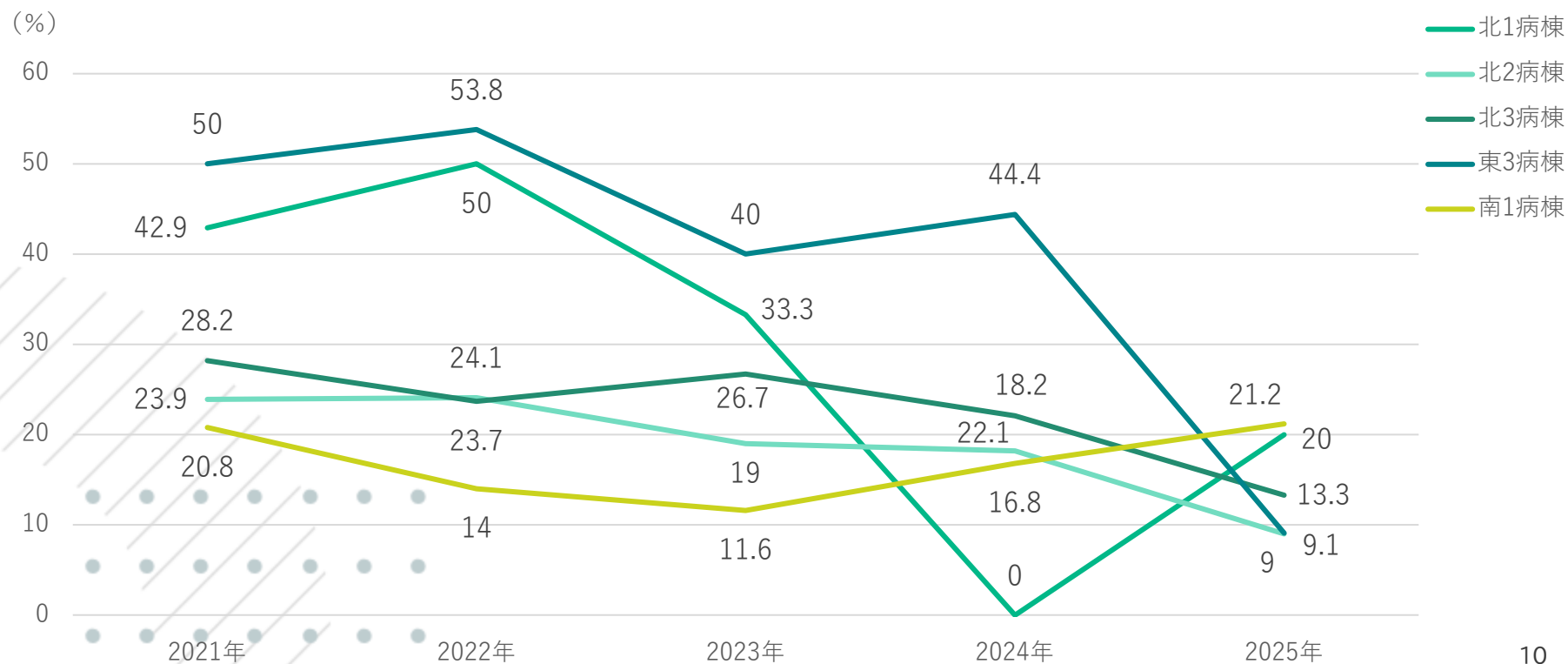
職種	常勤	非常勤 (派遣含む)
放射線技師	1	0
臨床検査技師	1	1
看護師	117	12
准看護師	3	0
介護福祉士	12	0
介護支援専門員	0	0
事務	12	4
保育	0	0
営繕・車両管理	3	0
調理師	7	1
配膳	2	29

2026年4月1日 現在

再入院率

(単位:%)

病棟	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
北1病棟	42.9	50.0	33.3	0	20.0
北2病棟	23.9	24.1	19.0	18.2	9.0
北3病棟	28.2	23.7	26.7	22.1	13.3
東3病棟	50.0	53.8	40.0	44.4	9.1
南1病棟	20.8	14.0	11.6	16.8	21.2
全体	24.7	21.0	22.0	19.1	15.0

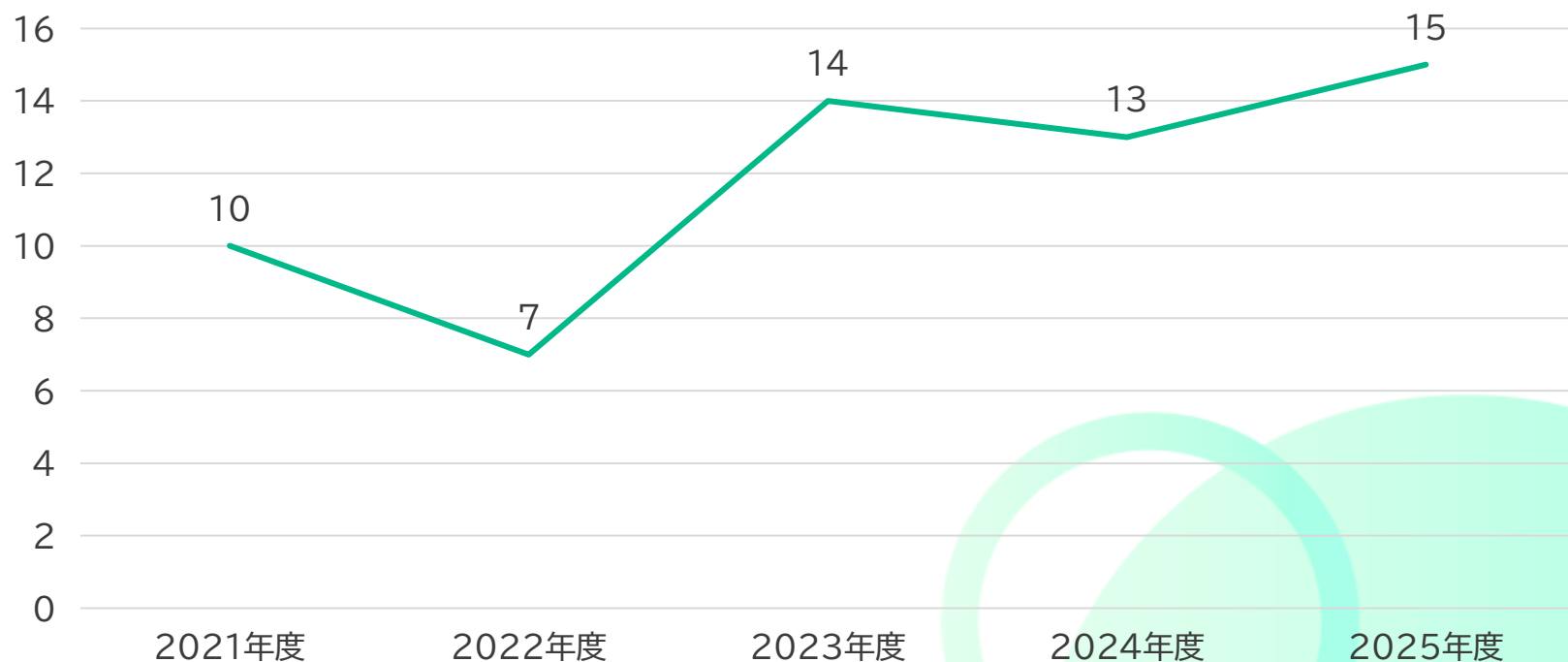


クロザピン症例数

(単位:件)

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
10	7	14	13	15	59

(件)



クロザピンは、他の抗精神病薬で十分な効果が得られなかった治療抵抗性統合失調症に用いられる専門的な治療薬であり、厳格な安全管理が求められます。当院では国の指針に基づく適切な安全管理体制のもと、クロザピン治療を実施しています。

2. 患者動態と地域医療連携の状況

患者様の受診状況、入退院動態、地域との連携状況を把握し、医療サービスの質向上と地域貢献に努めています。

患者動態 2025年度実績

01

性別・年齢別入院患者数

(単位:人)

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	総数
男性	0	3	27	25	42	52	47	44	68	16	324
女性	0	12	64	47	47	76	44	67	77	32	466
合計	0	15	91	72	89	128	91	111	145	48	790

(人)

100

80

60

40

20

0

■ 男性

■ 女性

10歳未満

10代

20代

30代

40代

50代

60代

70代

80代

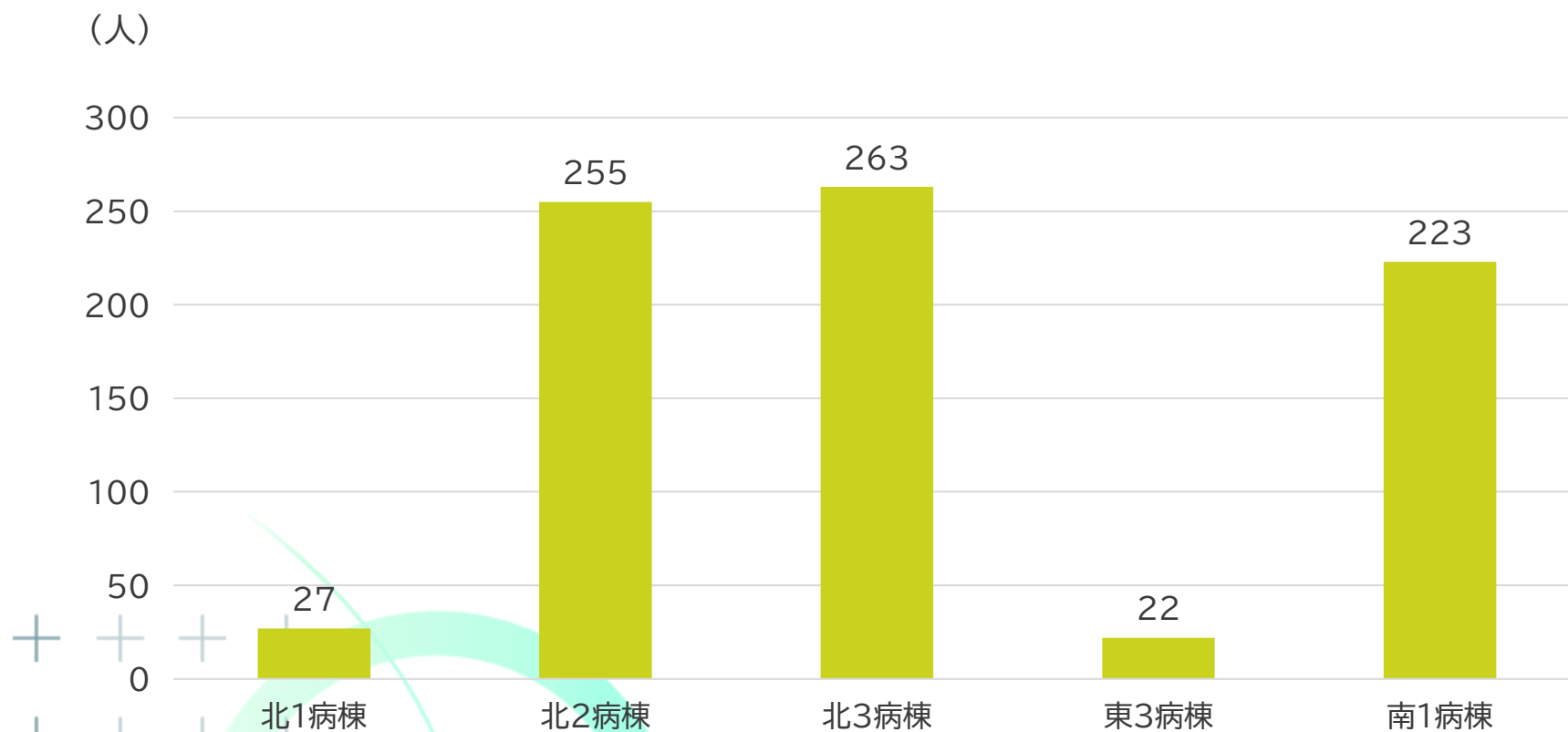
90代以上

02

病棟別入院患者数

(単位:人)

北1病棟	北2病棟	北3病棟	東3病棟	南1病棟
27	255	263	22	223

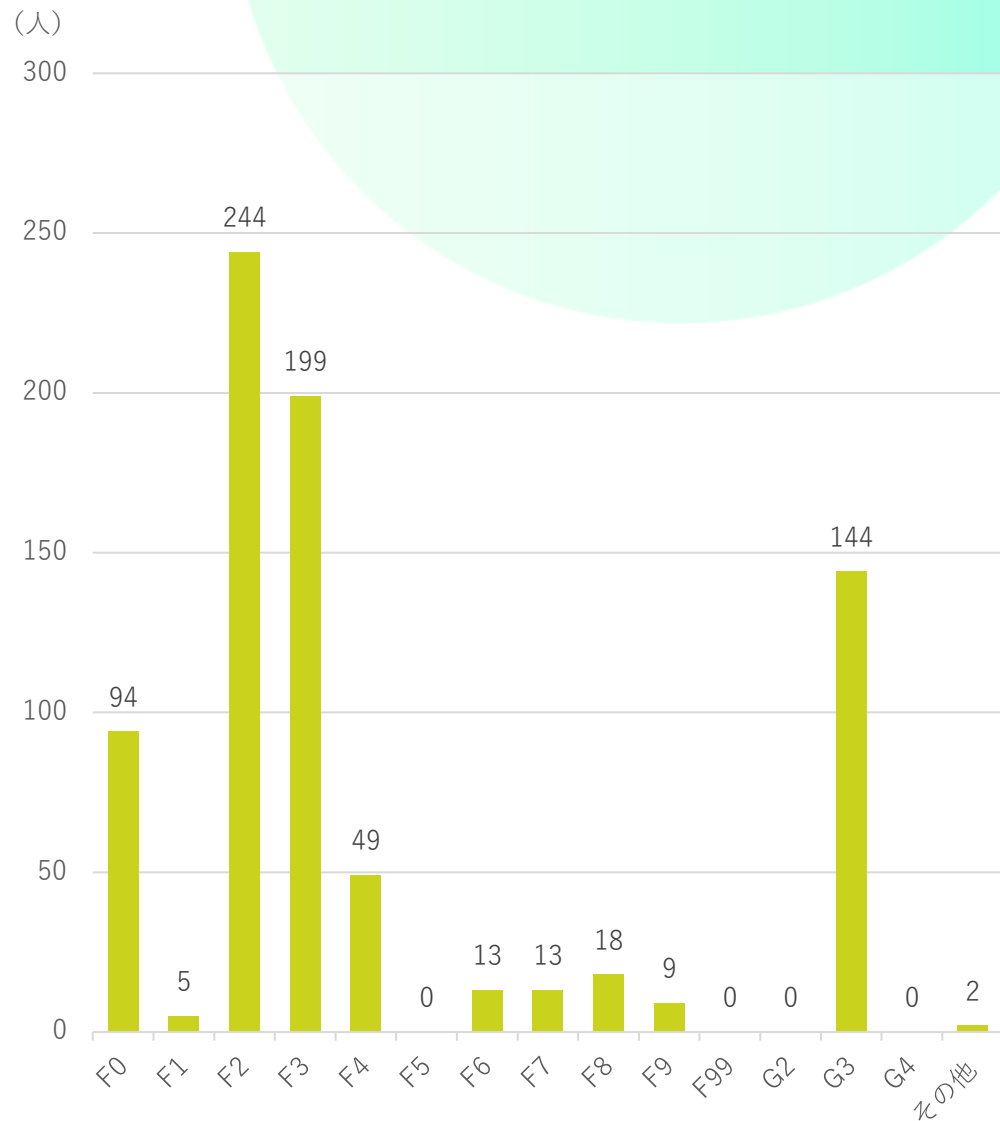


03

入院患者の主な疾病構成

分類	人数
F0 症状含む器質性精神病 (F00-F09)	94
F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F10-F19)	5
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 (F20-F29)	244
F3 気分(感情)障害 (F30-F39)	199
F4 神経症性障害ストレス関連障害及び身体表現性障害 (F40-F48)	49
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (F50-F51)	0
F6 成人の人格及び行動の障害 (F60-F69)	13
F7 知的障害 (F70-F79)	13
F8 心理的発達障害 (F80-F89)	18
F9 小児期及び青年期に正常発症する行動及び情緒の障害 (F90-F98)	9
F99 詳細不明の精神障害 (F99)	0
G2 錐体外路障害及び異常運動 (G20-G26)	0
G3 神経系のその他の変性疾患 (G30-G32)	144
G4 挿間性及び発作性障害 (G40-G47)	0
その他	2

(単位:人)



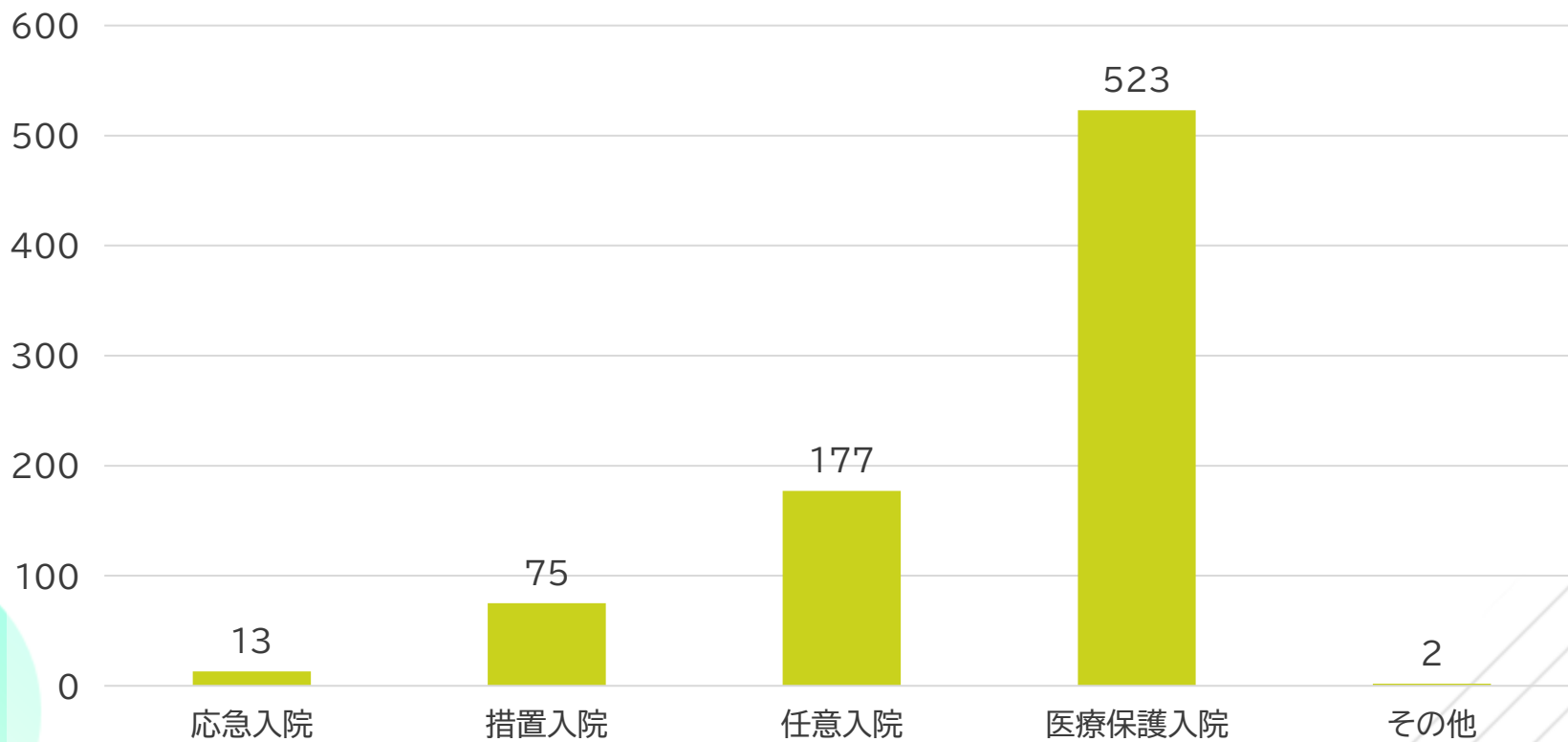
04

形態別入院数

(単位:人)

応急入院	措置入院	任意入院	医療保護入院	その他	合計
13	75	177	523	2	790

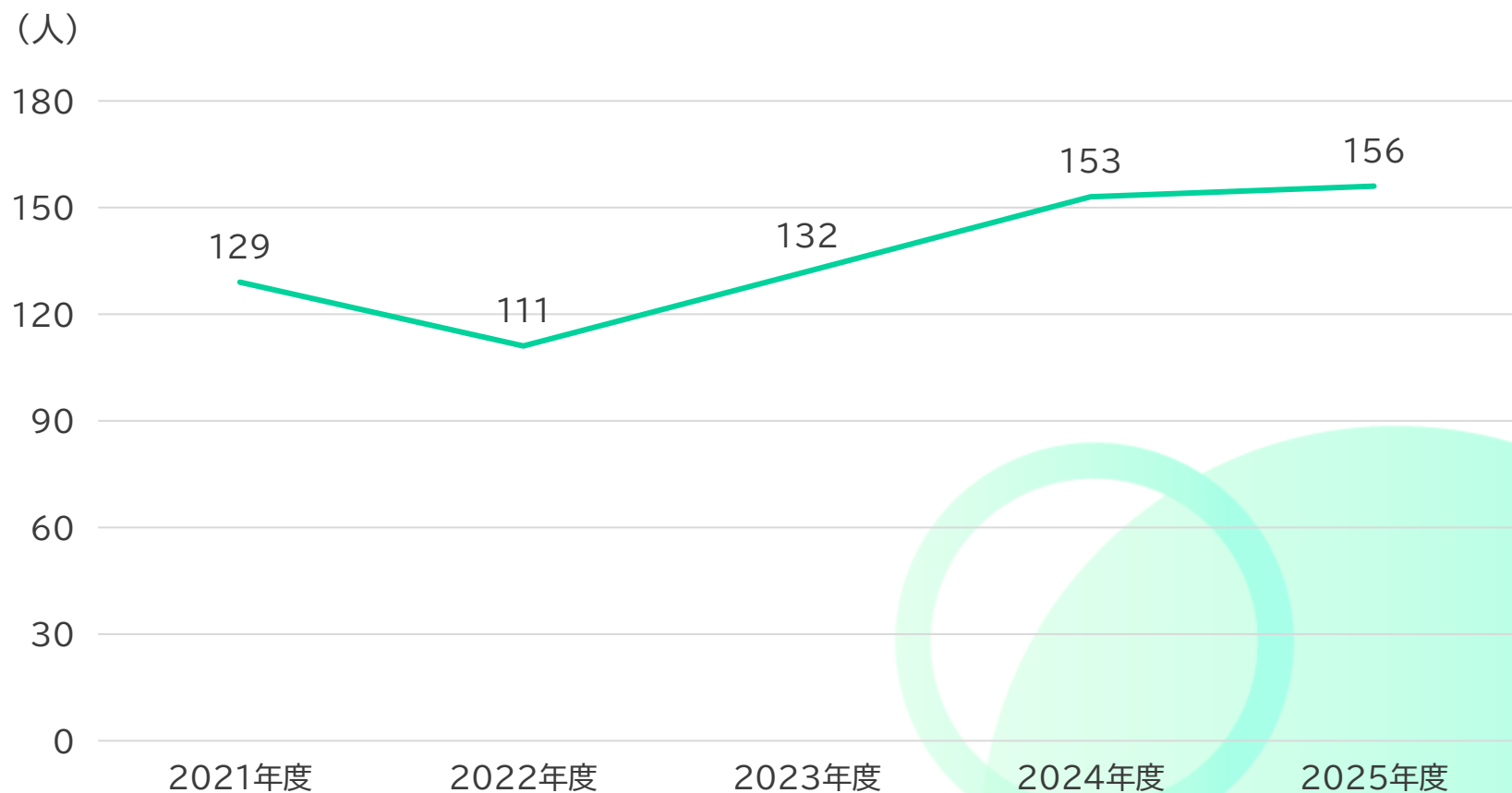
(人)



夜間休日入院数

(単位:人)

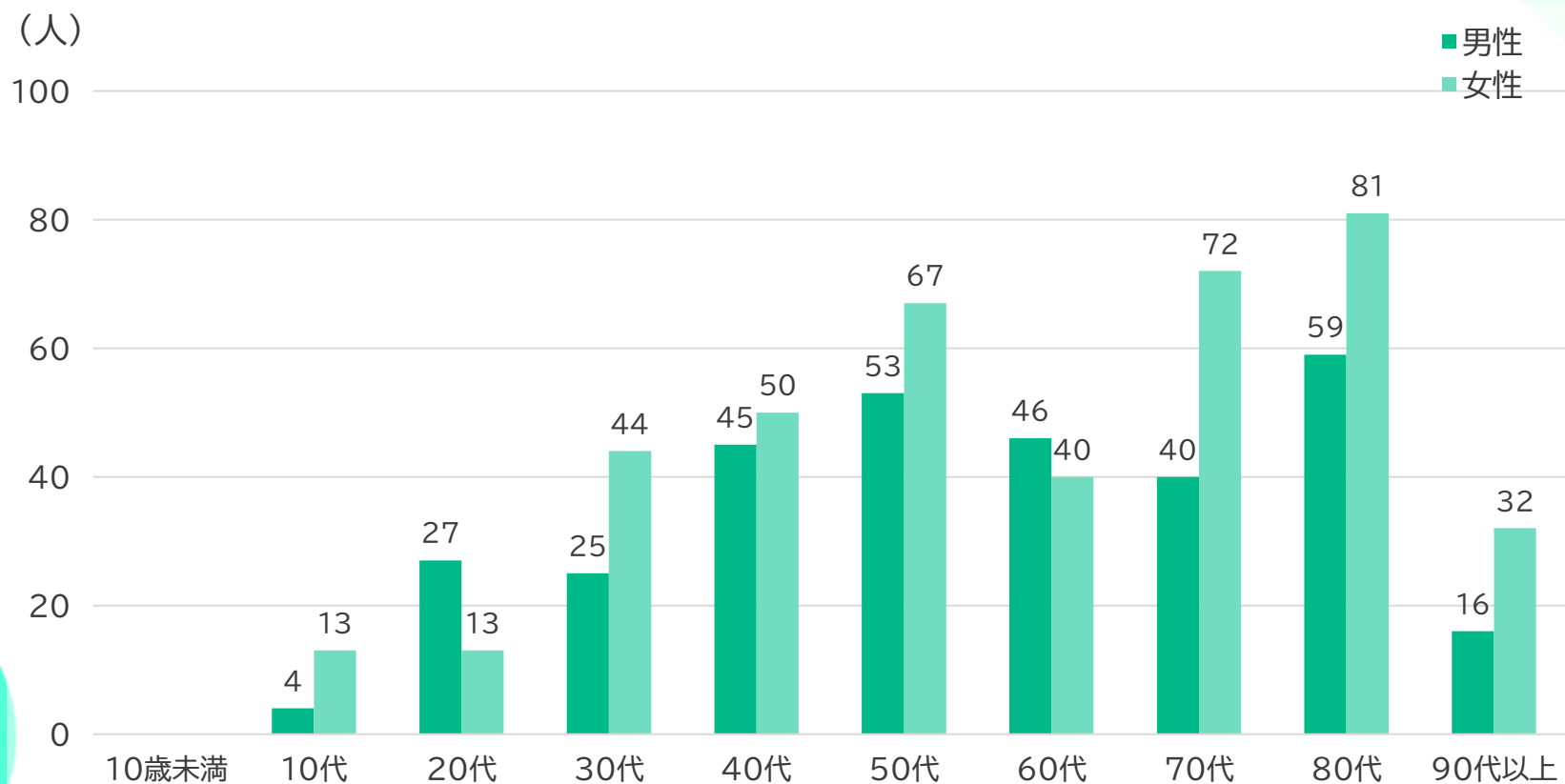
2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
129	111	132	153	156	681



性別・年齢別退院患者数

(単位:人)

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	総数
男性	0	4	27	25	45	53	46	40	59	16	325
女性	0	13	13	44	50	67	40	72	81	32	463
合計	0	17	91	69	95	120	86	112	150	48	788



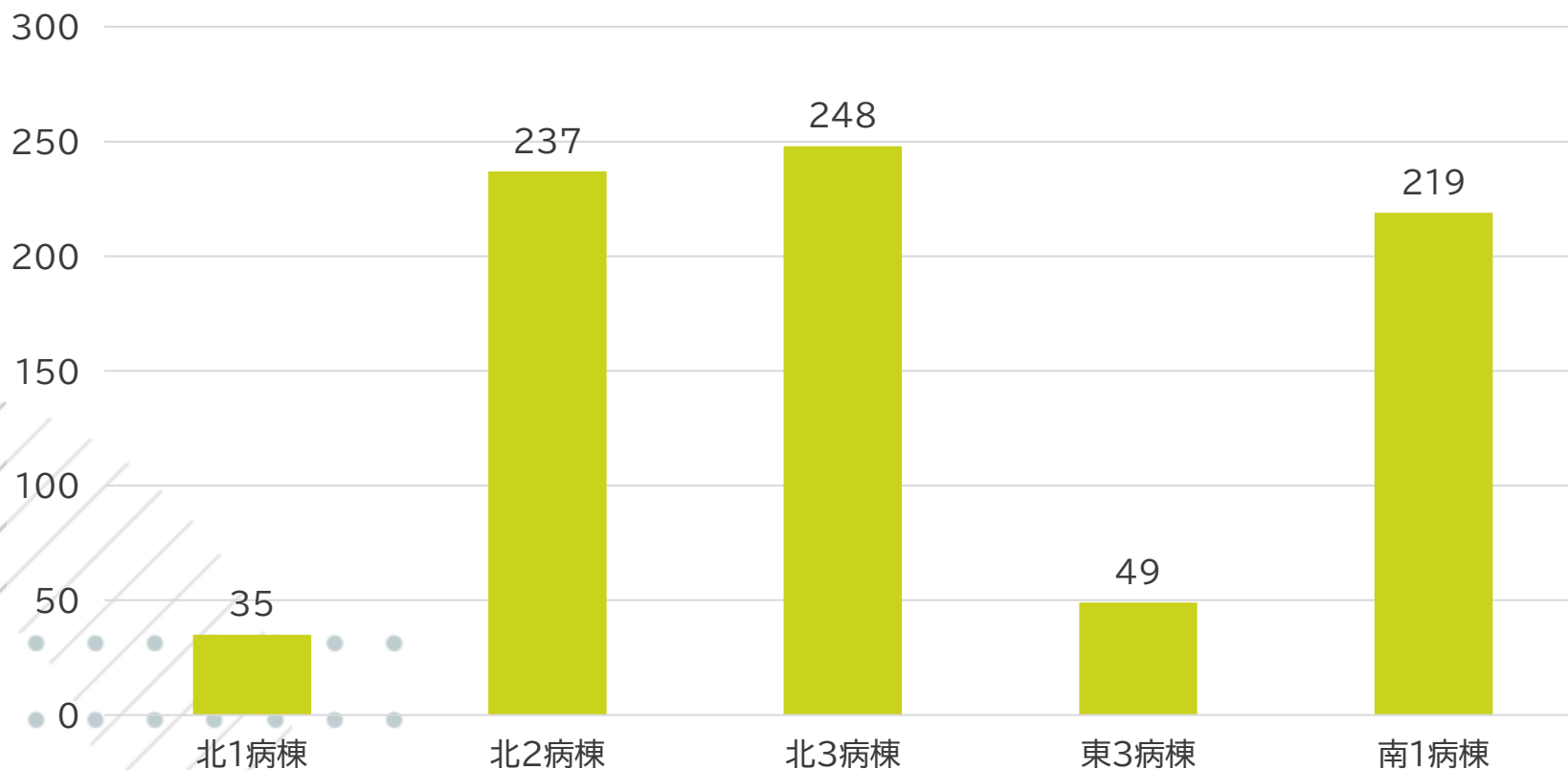
07

病棟別退院患者数

(単位:人)

北1病棟	北2病棟	北3病棟	東3病棟	南1病棟
35	237	248	49	219

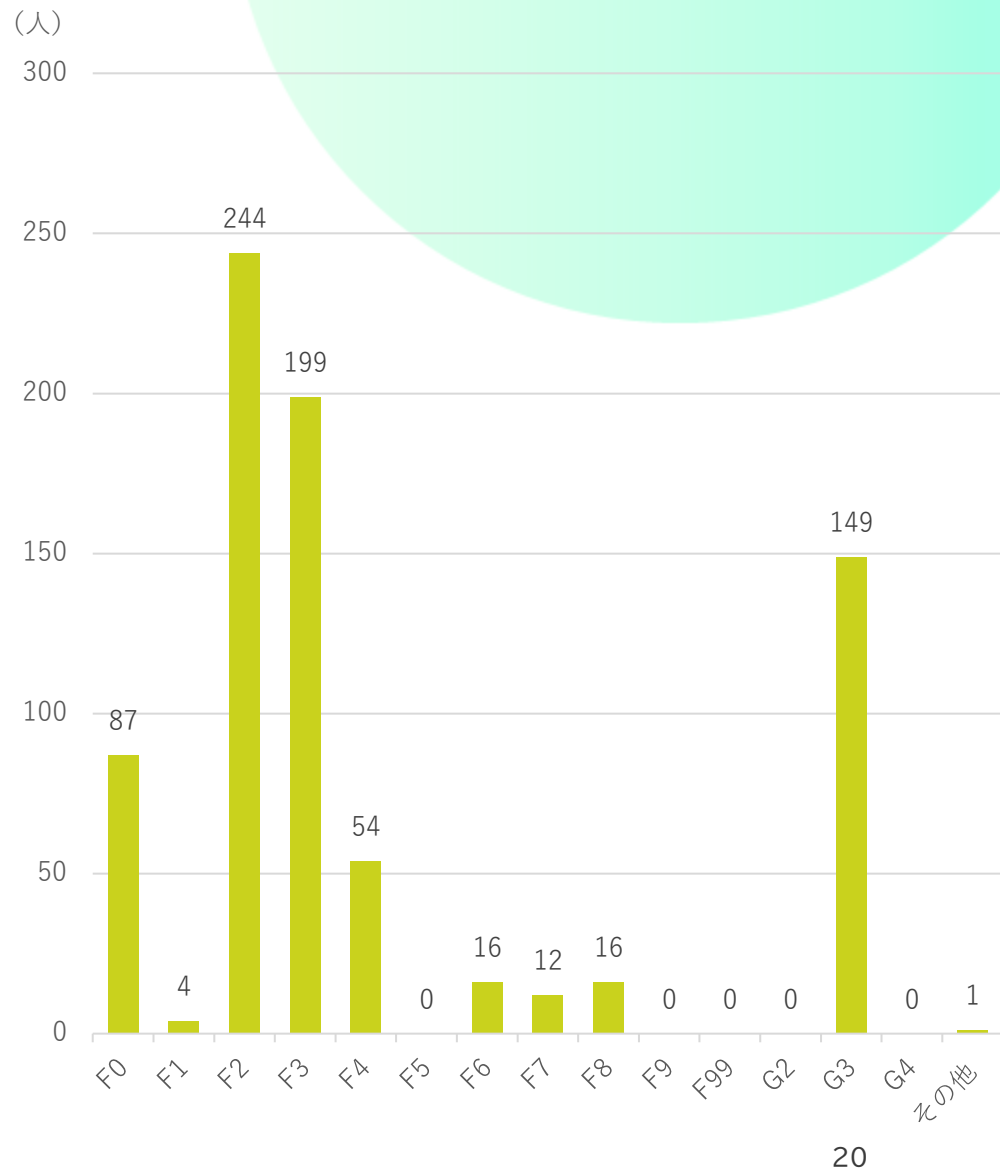
(人)



退院患者の主な疾病構成

分類	人数
F0 症状含む器質性精神病 (F00-F09)	87
F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F10-F19)	4
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 (F20-F29)	244
F3 気分(感情)障害 (F30-F39)	199
F4 神経症性障害ストレス関連障害及び身体表現性障害 (F40-F48)	54
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (F50-F51)	0
F6 成人の人格及び行動の障害 (F60-F69)	16
F7 知的障害 (F70-F79)	12
F8 心理的発達障害 (F80-F89)	16
F9 小児期及び青年期に正常発症する行動及び情緒の障害 (F90-F98)	0
F99 詳細不明の精神障害 (F99)	0
G2 錐体外路障害及び異常運動 (G20-G26)	0
G3 神経系のその他の変性疾患 (G30-G32)	149
G4 挿間性及び発作性障害 (G40-G47)	0
その他	1

(単位:人)

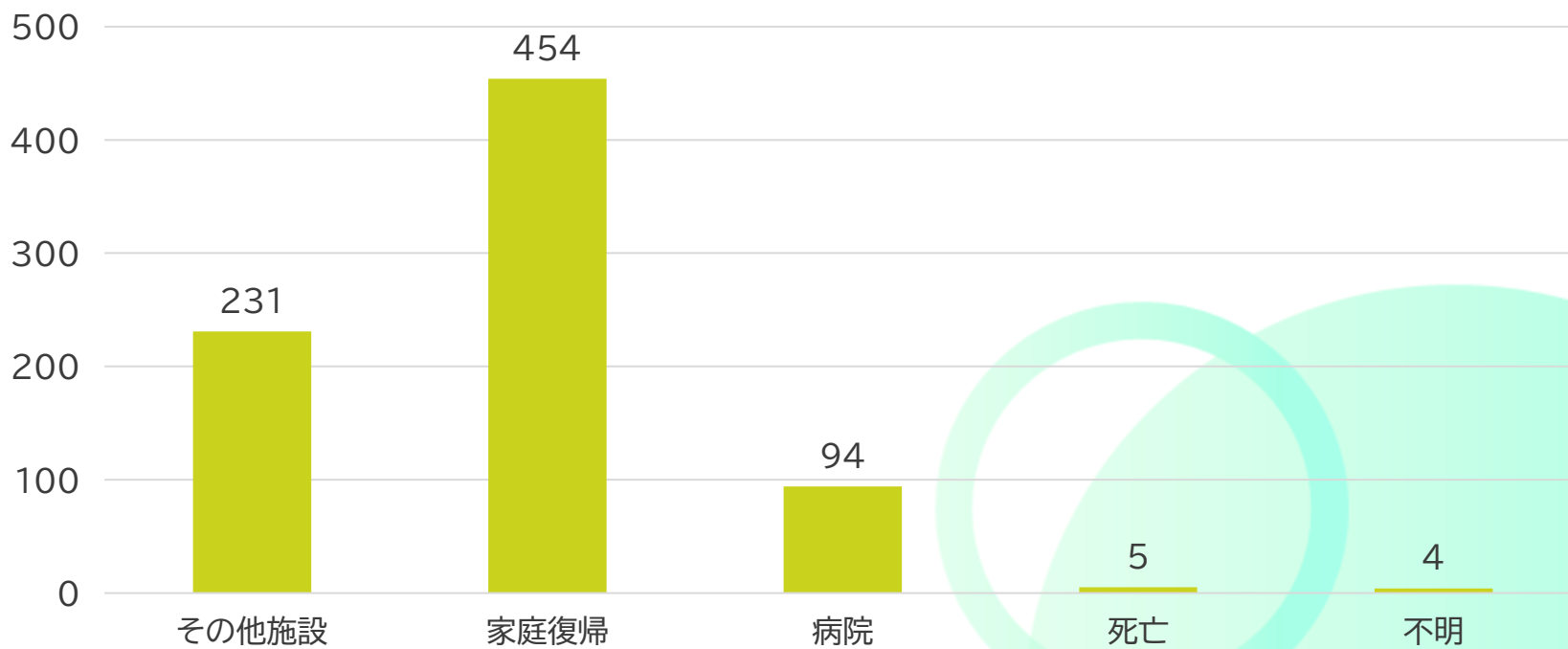


退院先別内訳

(単位:人)

介護施設・福祉施設等	家庭復帰	病院	死亡	その他	合計
231	454	94	5	4	788

(人)



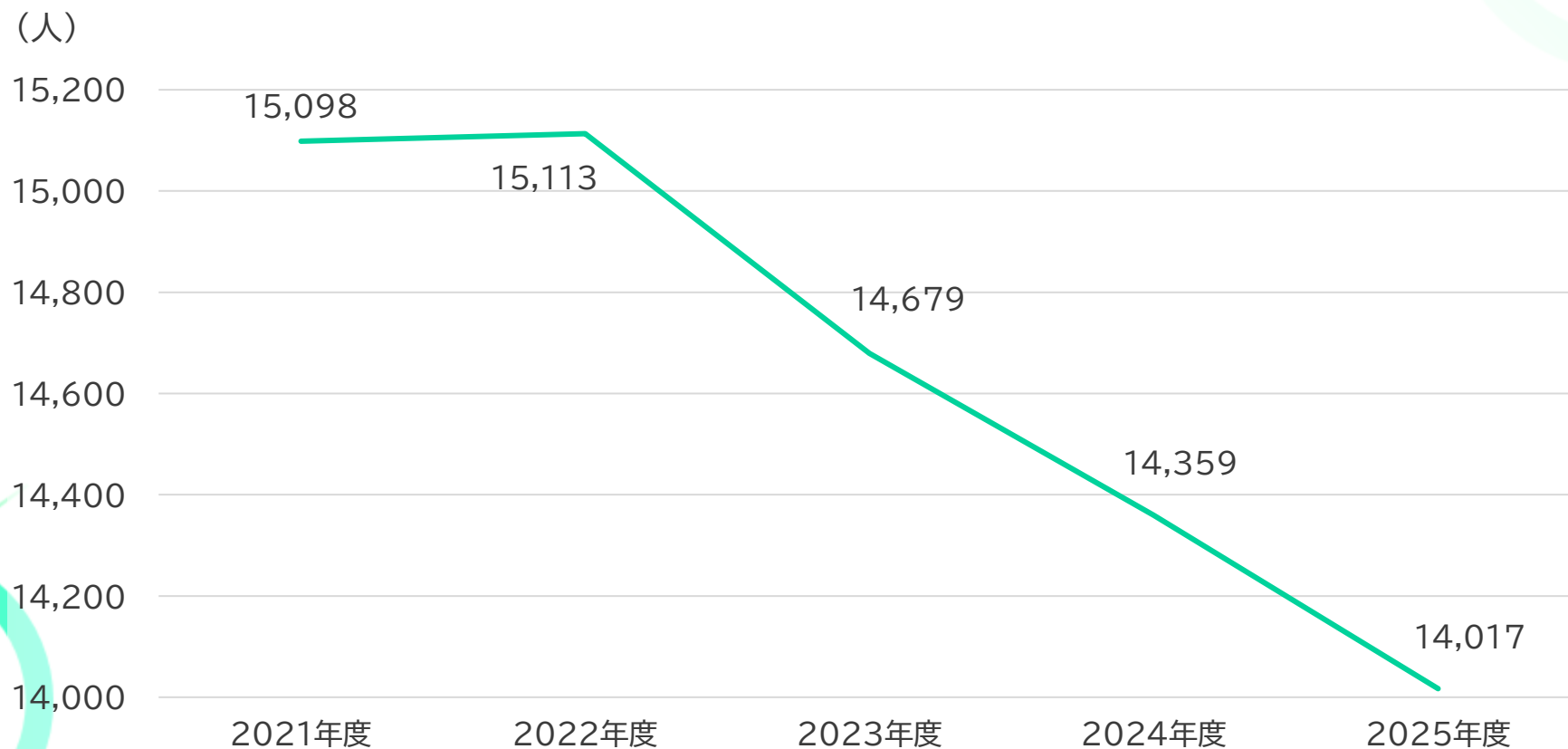
10

外来患者数

(単位:人)

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
15,098	15,113	14,679	14,359	14,017	73,266

(デイケア再診除く)

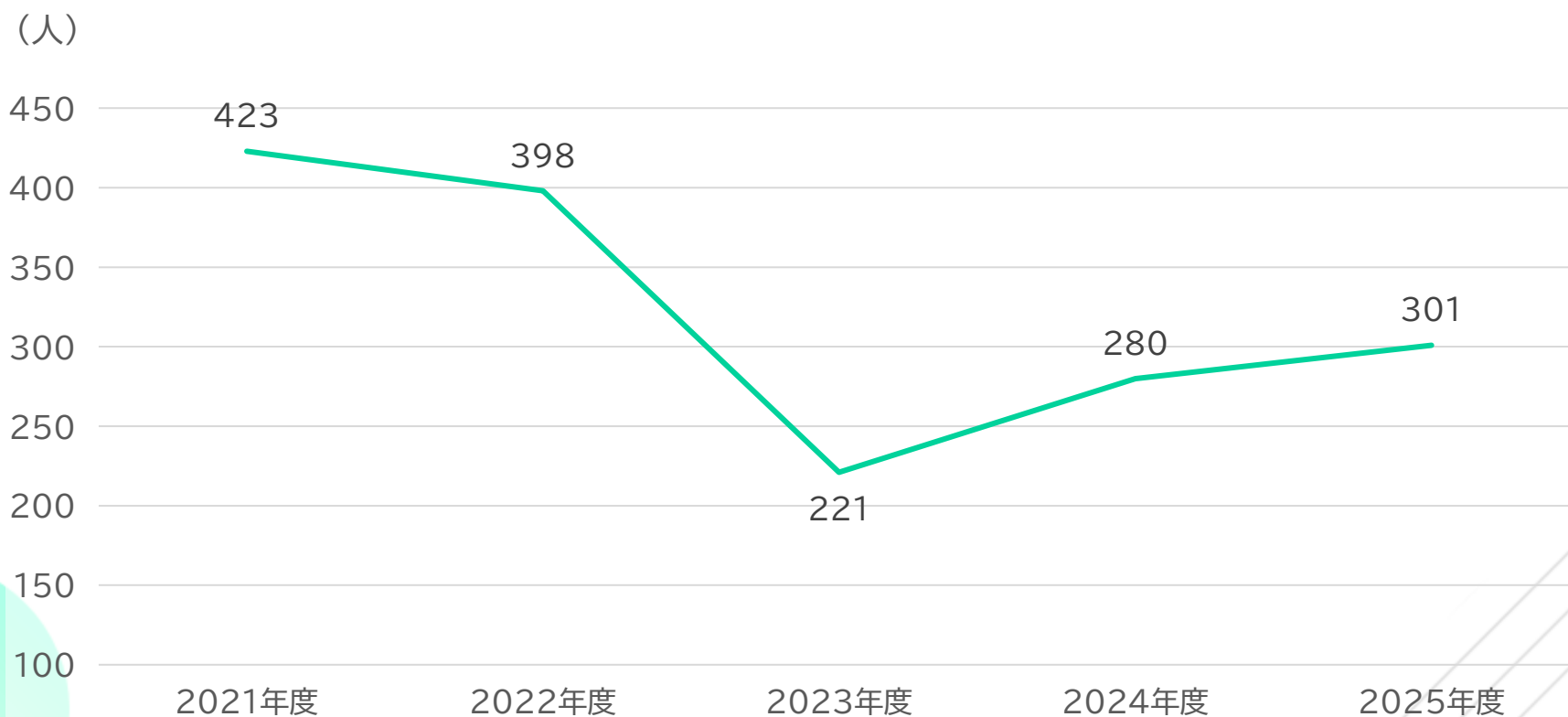


11

夜間休日救急外来診察数

(単位:人)

2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	合計
423	398	221	280	301	1,623

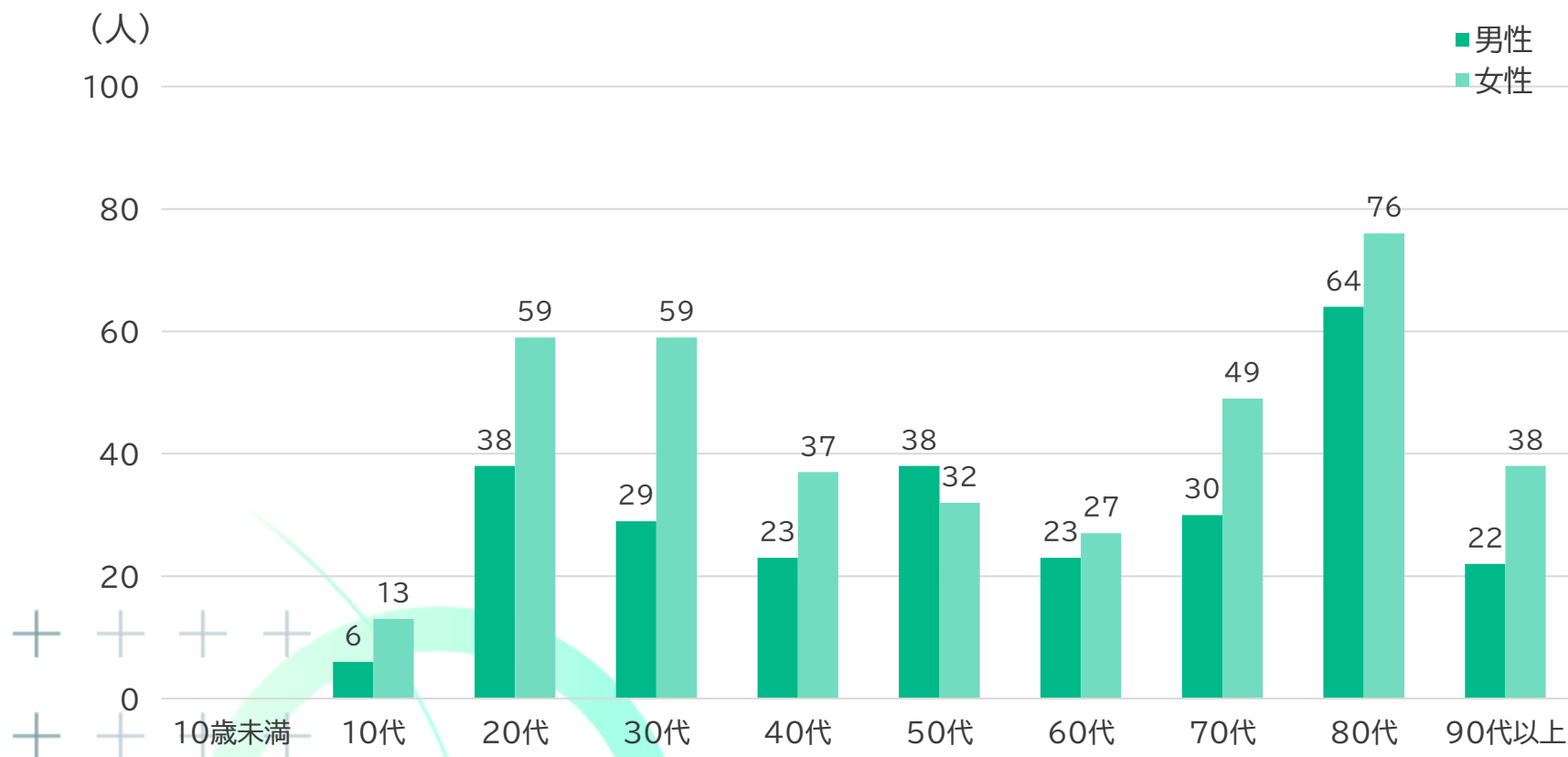


12

初診患者数

(単位:人)

性別	10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	総数
男性	0	6	38	29	23	38	23	30	64	22	273
女性	0	13	59	59	37	32	27	49	76	38	390
合計	0	19	97	88	60	70	50	79	140	60	663



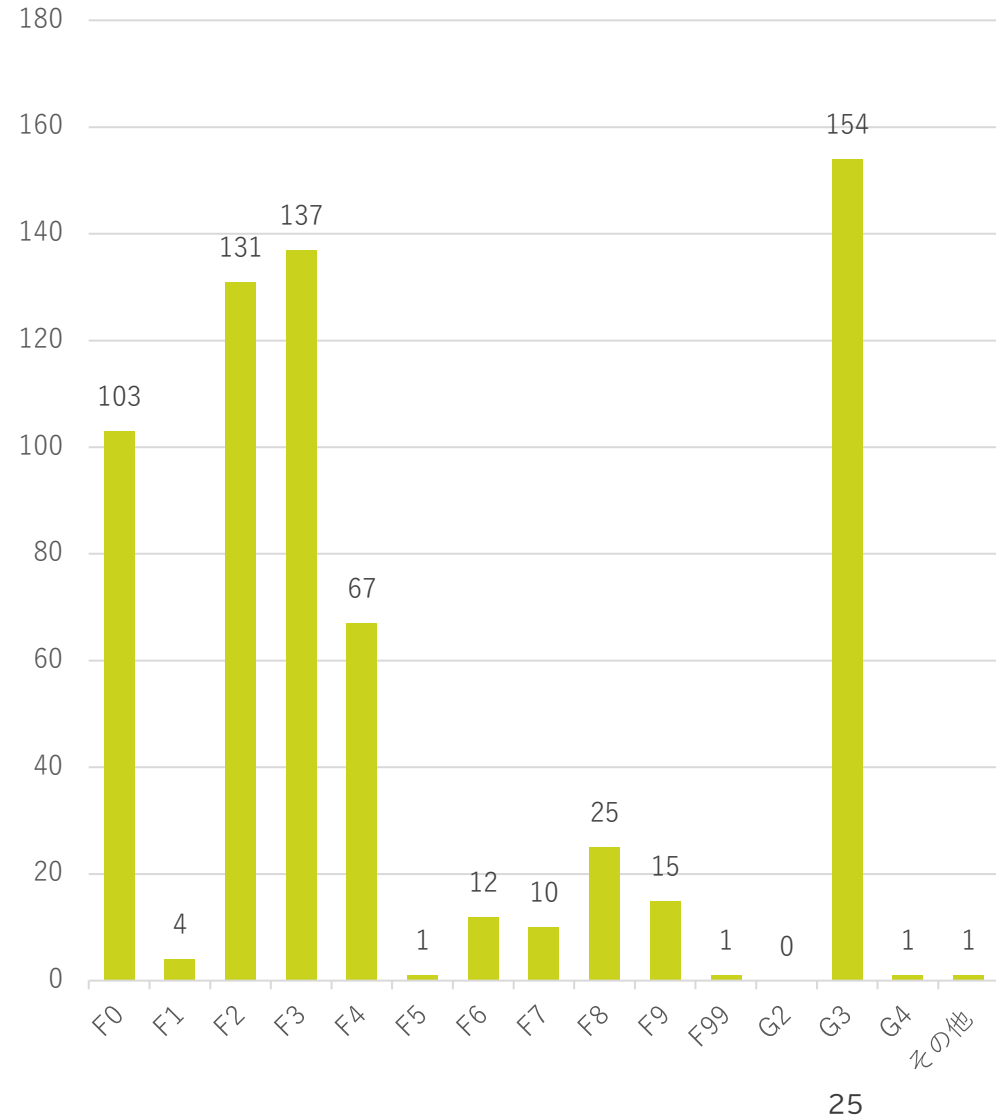
13

初診患者ICD分類

分類	人数
F0 症状含む器質性精神病 (F00-F09)	103
F1 精神作用物質使用による精神及び行動の障害 (F10-F19)	4
F2 統合失調症, 統合失調症型障害及び妄想性障害 (F20-F29)	131
F3 気分(感情)障害 (F30-F39)	137
F4 神経症性障害ストレス関連障害及び身体表現性障害 (F40-F48)	67
F5 生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群 (F50-F51)	1
F6 成人の人格及び行動の障害 (F60-F69)	12
F7 知的障害 (F70-F79)	10
F8 心理的発達障害 (F80-F89)	25
F9 小児期及び青年期に正常発症する行動及び情緒の障害 (F90-F98)	15
F99 詳細不明の精神障害 (F99)	1
G2 錐体外路障害及び異常運動 (G20-G26)	0
G3 神経系のその他の変性疾患 (G30-G32)	154
G4 挿間性及び発作性障害 (G40-G47)	1
その他	1

(単位:人)

(人)

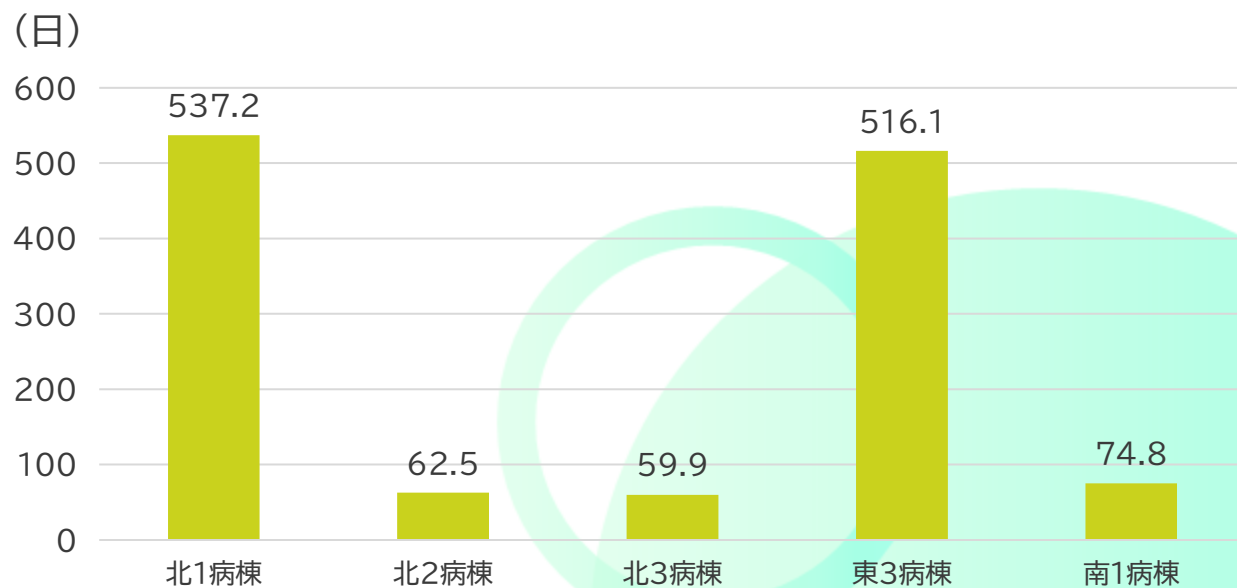


平均在院日数

病棟	入院件数	退院件数	在院患者延数	平均在院日数 在院患者延数 ÷ {(入院患者数+退院患者数) ÷ 2}
北1病棟	27	35	16,655	537.2
北2病棟	255	237	15,393	62.5
北3病棟	263	248	15,319	59.9
東3病棟	22	49	18,323	516.1
南1病棟	223	219	16,541	74.8
合計	790	788	82,231	104.2

※慢性期・特殊疾患病棟を含みます。

平均在院日数	104.2日
病床利用率	86.7%
病床稼働率	87.5%



3. 利用者の満足度

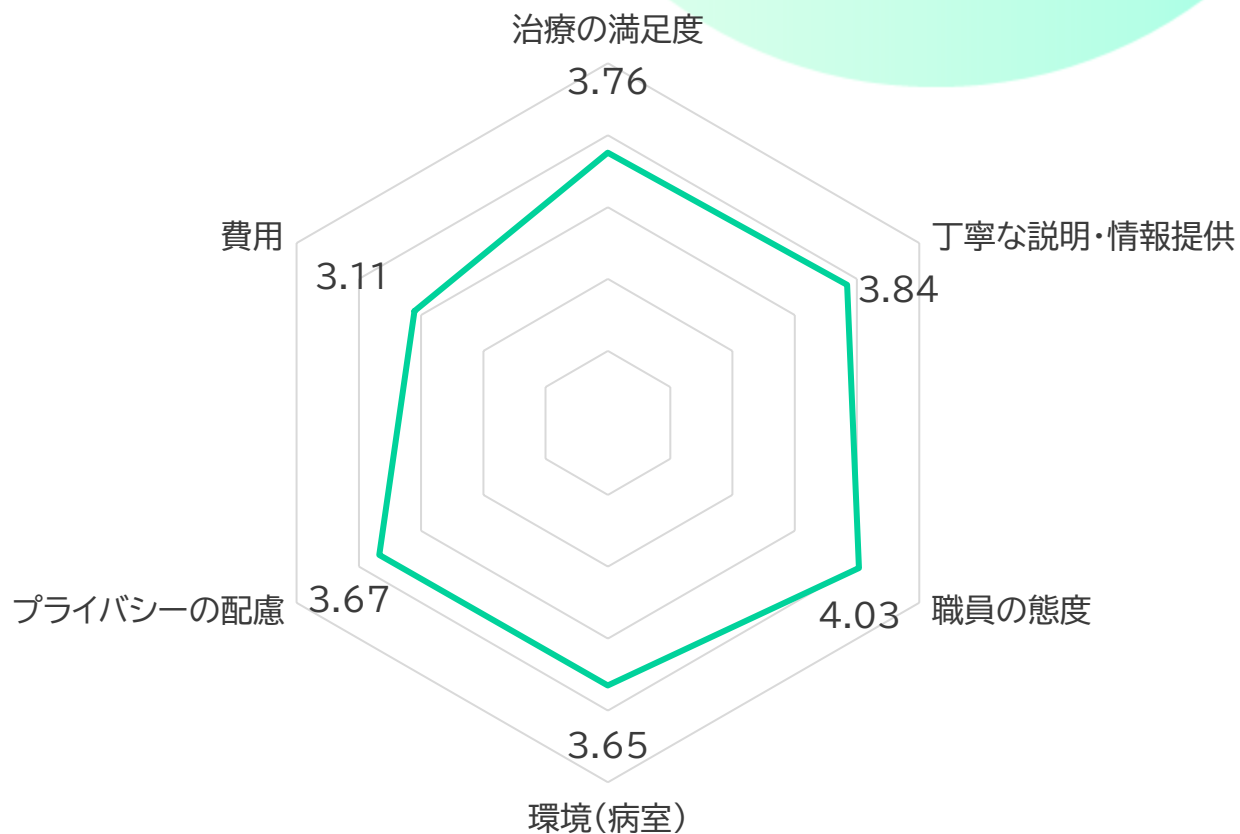
患者様と関係機関の皆様の声を大切にし、継続的なサービス品質の向上に取り組んでいます。

利用者満足度調査結果

2025年度実施分 全体満足度 68%

※「満足」または「ほぼ満足」と回答した割合

項目	平均スコア
治療の満足度	3.75
丁寧な説明・情報提供	3.84
職員の態度	4.03
環境(病室)	3.65
プライバシーの配慮	3.67
費用	3.10



4. 採用強化に向けた取り組み

人材の確保と定着のため、福利厚生制度の充実、働き方改革、職員の負担軽減など、採用に関する各種施策に取り組んでいます。

福利厚生 / 制度



- ・ 社会保険完備
- ・ 健康診断
- ・ メンタルヘルス支援
など



- ・ 通勤手当
- ・ 住宅手当
- ・ 家族手当
- ・ 財形貯蓄制度
など



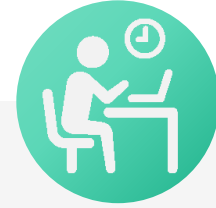
- ・ 時間単位年休
- ・ リフレッシュ休暇
- ・ 慶弔休暇
- ・ その他特別休暇
など



- ・ 保育料補助
- ・ 育児時短勤務
- ・ 法人内保育所
など



- ・ 退職金制度
- ・ 慶弔見舞金
- ・ 永年勤続表彰
など



- ・ 自己啓発支援制度
- ・ 各種研修制度
- ・ 就学支援制度
など

働き方改革への取り組み

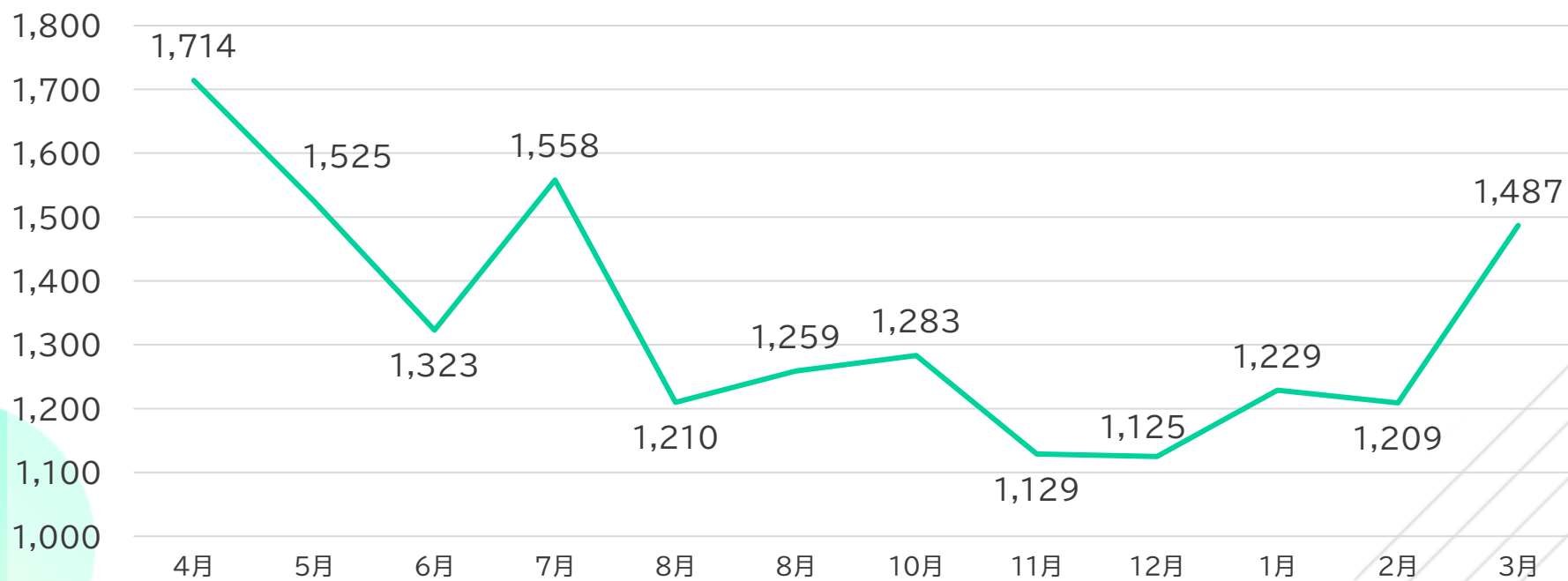
01

超過勤務発生状況 2025年度実績（月別総時間）

（単位：時間）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1,714	1,525	1,323	1,558	1,210	1,259	1,283	1,129	1,125	1,229	1,209	1,487	16,045

（時間）



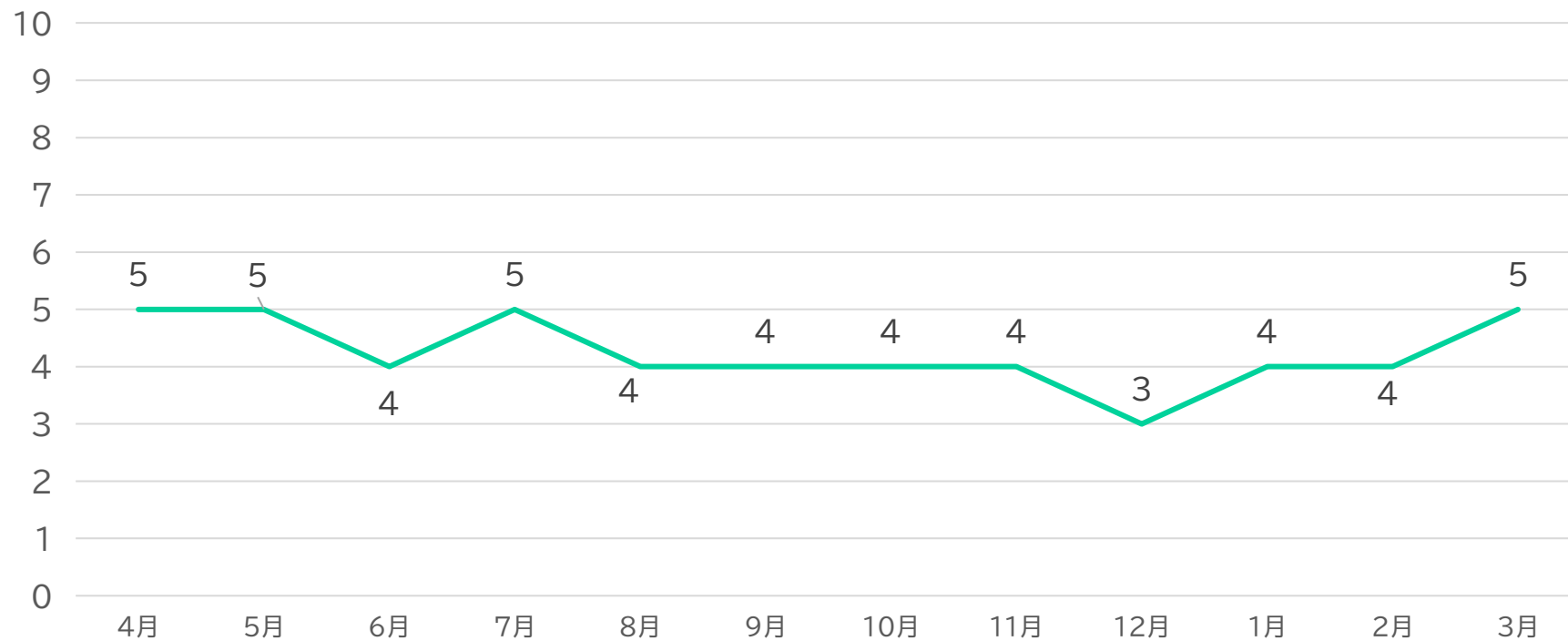
02

職員一人あたりの平均超過勤務時間

(単位:時間)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体平均
5.0	5.0	4.0	5.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.0	4.0	4.0	5.0	49.0

(時間)



働き方改革

主な取り組み

効率的・効果的なシステム運用

- 電子カルテ更新等に合わせた業務フローの最適化
- ISO等を活用した「ムリ・ムダ」のない運営

業務負担の適正化と平準化

- 特定部署・個人への負担の平準化
- 多職種協働によるチーム医療の推進

働きがいを支える柔軟な体制整備

- 夜勤体制の柔軟化やサポートスタッフの活用による現場の負担軽減
- クリニカルラダーや認定看護師育成などの教育支援

リフレッシュを支える休暇の充実

- 夜勤前後の休暇確保など、無理のない勤務サイクル
- 有給休暇の取得推奨による心身のリフレッシュ
- 休憩時間の保証と業務調整

職員の負担軽減および処遇改善のための取り組み(目標別)

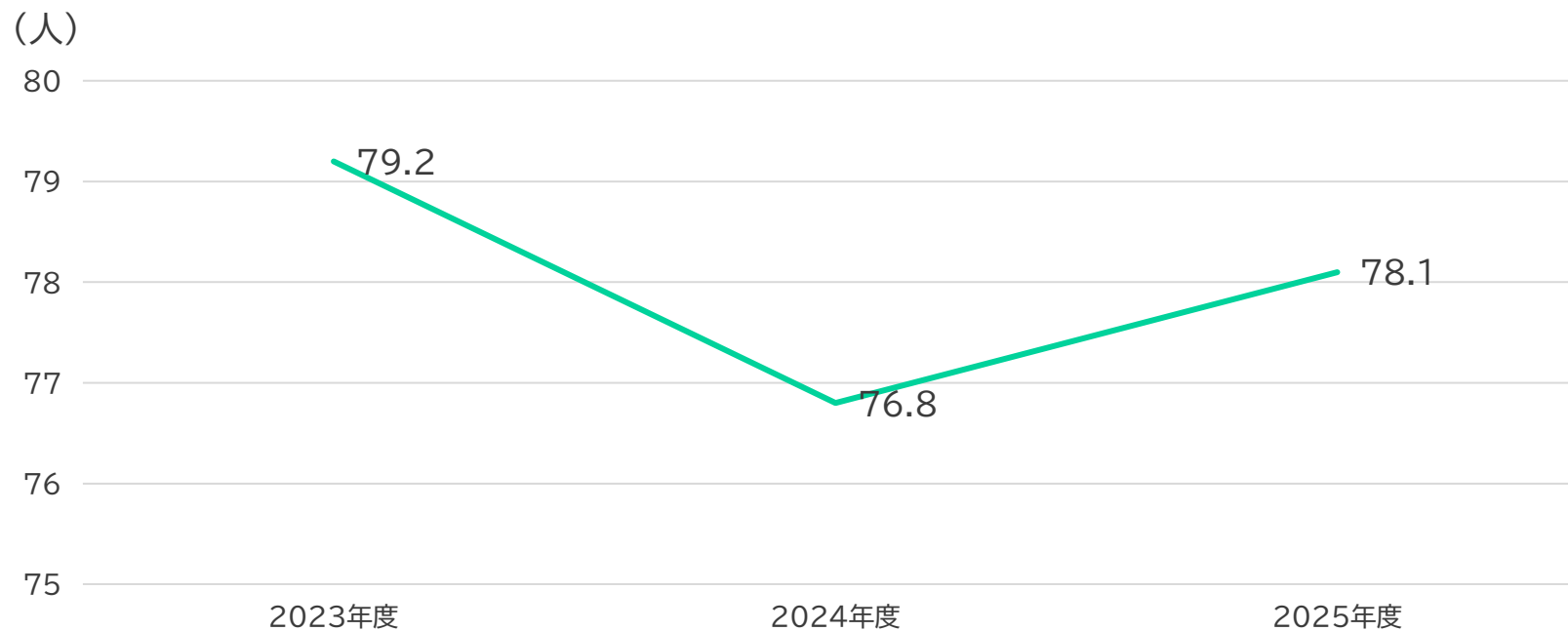
目標	具体的な取り組み
超過勤務の未然防止と業務量の適正化	<ul style="list-style-type: none"> ● 時間外労働の要因分析と改善
専門性を生かす役割分担と外部業者による負担軽減	<ul style="list-style-type: none"> ● 勤務内での研修会・勉強会の実施の促進 ● ガイドラインに沿った役割分担の適正化 ● クリーンスタッフの導入
負担軽減に向けた多様な勤務形態の導入	<ul style="list-style-type: none"> ● 外部業者等への業務委託による現場支援の検討 ● 業務ピーク時への重点的な人員配置 ● 個々の状況に応じた多様な勤務形態の運用 ● 業務量および施設基準に基づく適正配置の実施
適切な休息の確保と夜勤負担の軽減	<ul style="list-style-type: none"> ● 夜勤後の暦日休日の確保 ● 12時間以上の勤務インターバルの導入 ● 夜勤連続回数の制限 ● 月4回以内の夜勤を目標とした運用と特定個人への偏重防止
ストレスチェックの活用とメンタルヘルスケアの充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別面談およびストレスチェックによる心身の状態把握 ● 産業保健師等の専門職による相談・支援体制の構築 ● 内部・外部相談窓口の活用 ● ハラスメント・メンタル対策に関する研修会の継続実施 ● 目標管理面接を通じたキャリア・メンタル面のサポート
ライフイベントに応じたライフワークバランスの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 育児休業(2025年度実績:14名)および介護休業の取得促進 ● ライフステージに応じた円滑な復職・継続就業支援 ● 短時間勤務制度の活用と柔軟な勤務形態の運用 ● 夜勤・時間外労働の制限および免除措置の実施
看護補助者の活用を促進するマネジメント体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 「看護補助者活用のための看護管理者研修」の受講完了(全看護師長および主任)

2025年度実績 有給休暇取得率 78.1%

(単位:%)

2023年度	2024年度	2025年度
79.2	76.8	78.1

※全国平均:63.9% (厚生労働省「令和6年就労条件総合調査」)



当院では有給休暇取得促進のため、各職員の希望に沿ったスケジュール立案に努め、取得が遅れている職員には個別に取得を促すなど、誰もが休みやすい環境づくりに取り組んでいます。

5. その他特記事項

私たちは『永続する良心』をもって、快適な医療環境を提供し続けます。

本紙に関するお問い合わせについては
下記担当までお問い合わせください

医療法人社団翠会 陽和病院 管理課
(代)03-3923-0221

当院では、

「医療安全」「多職種連携」「地域医療連携」「働きやすい職場環境づくり」を通じて、
患者様やご家族様に安心して利用いただける
医療サービスの提供に努めています。

今後も各種指標を継続的に分析・改善し、医療の質向上に取り組んでまいります。